

鴛泊地区 種コンブ湿重量  
(残置量) 資料

# 利尻富士町のリシリコンブを活用した ブルーカーボン事業

---

～日本のだし文化を守る取組～



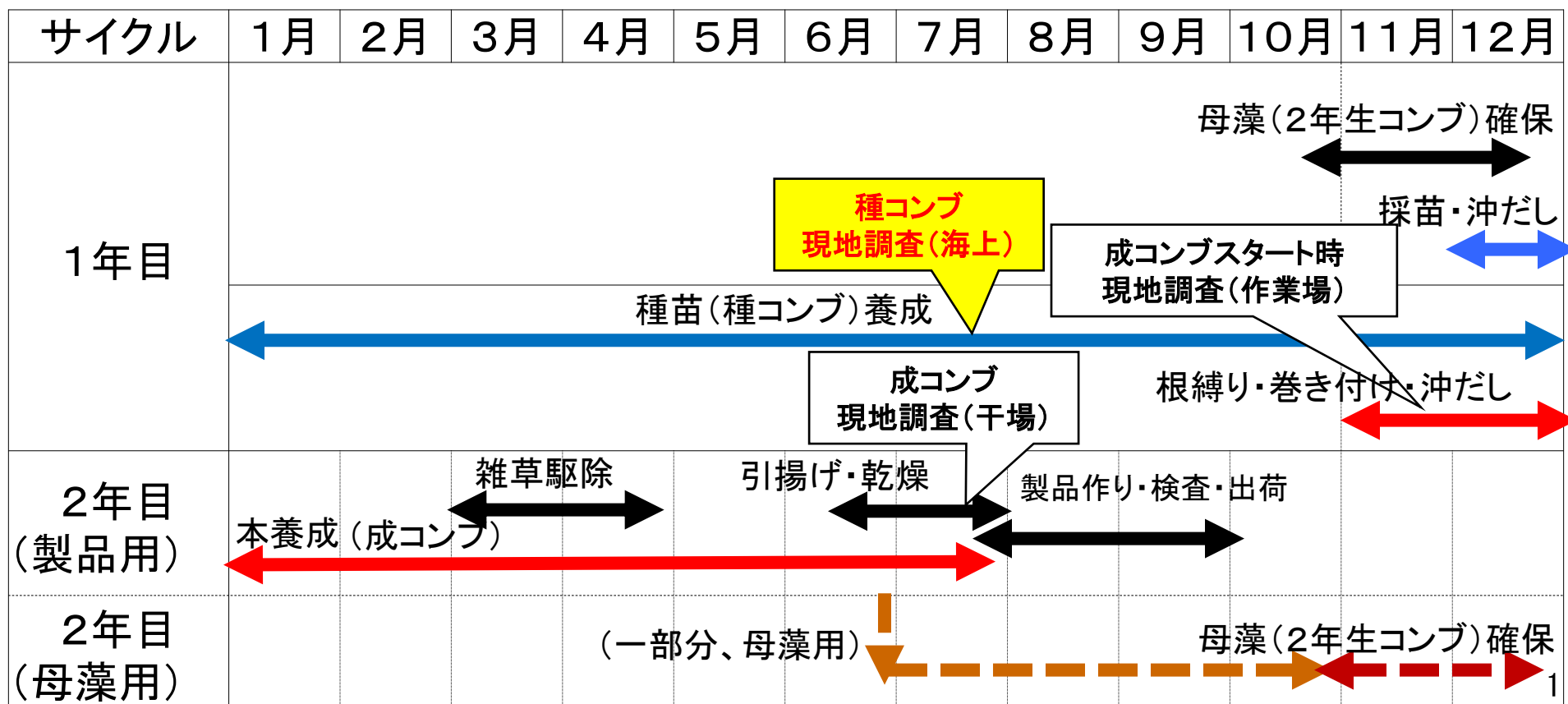
利尻富士町

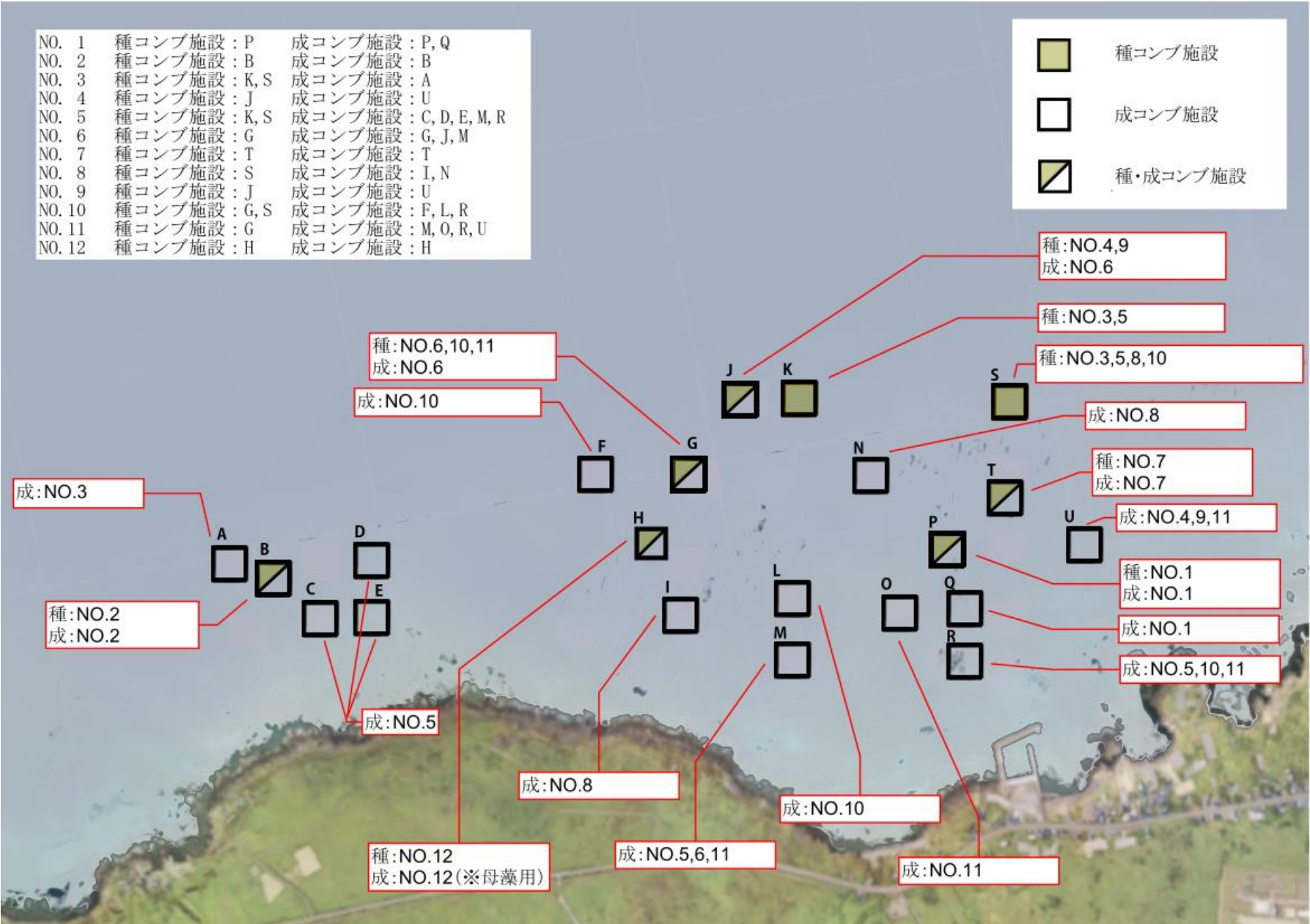


利尻漁業協同組合

# リシリコンブの養殖工程

- 1) 1年目は母藻を確保し、付着水槽の遊走子を確認後、養殖ロープを水槽に静置し、その後沖だし、種コンブの養成を開始。
- 2) その後、冬期に種コンブを陸揚げ・選定の上、成コンブ養成用のロープに根縛り・巻き付けを行う。
- 3) 2年目のロープ等に付着する雑海藻を除去し、成コンブの実入りを管理し、6月に引き揚げ乾燥を開始し、9月頃出荷する。





調査内容	リシリコンブ養殖	
	種コンブ (1年目)	成コンブ (2年目)
①養殖ロープ延長の確認	宗谷地区水産技術普及指導所で行った聞き取り調査から整理	成コンブの養殖ロープ延長を証明する書類として、利尻漁協の原本謄写による「特定養殖共済契約通知書」から整理
②単位当たり湿重量、本数、葉長、葉幅の調査	<p>令和6年7月18日(木) 16:00～17:00 調査担当者: 利尻富士町 産業振興課長 関光徳、水産港政係長 入井飛鳥、昆布養殖部会 一橋孝二、北海道開発局 稚内開発建設部 築港課長 阿部寿</p> <p>令和6年7月31日(水) 11:00～12:00 調査担当者: 利尻富士町 水産港政係長 入井飛鳥、水産港政係主事 佐藤駿介、昆布養殖部会 神成誠、宗谷地区水産技術普及指導書 利尻支所主査 白井睦実</p>	<p>令和6年7月14日(日)5軒分 3:30～5:30 調査担当者: 利尻富士町 産業振興課長 関光徳、水産港政係長 入井飛鳥、水産港政係主事 近藤稜起、宗谷地区水産技術普及指導書 利尻支所長 三好大介 利尻漁協 鴛泊昆布養殖部会 寺田和利、秋元雄司、一橋孝二、南信行、神成誠</p>

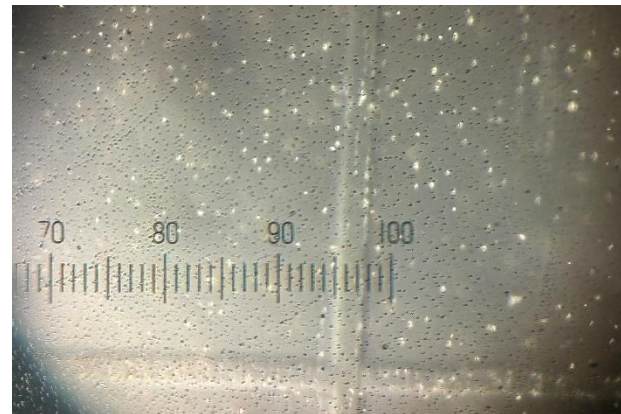
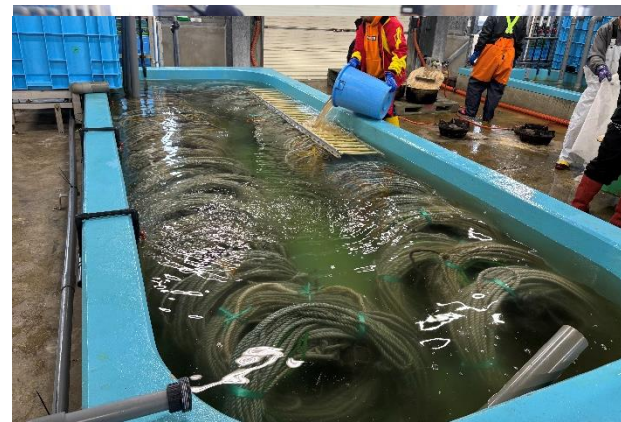
調査内容	リシリコンブ養殖	
	種コンブ (1年目)	成コンブ (2年目)
③成コンブスタート時の単位当たり湿重量の調査	—	<p>令和5年11月14日(水)1軒分 8:30～9:00 調査担当者: 利尻富士市 水産港政係長 入井飛鳥 利尻漁協 鴛泊昆布養殖部会 南信行</p> <p>令和5年11月15日(月)1軒分 8:00～8:30 調査担当者: 利尻富士市 水産港政係長 入井飛鳥 利尻漁協 鴛泊昆布養殖部会 寺田利和</p> <p>令和5年11月22日(木)3軒分 8:30～10:00 調査担当者: 利尻富士市 水産港政係長 入井飛鳥、水産港政主事 近藤稜起 松谷歩夢、水産指導所 利尻支所長 河合渉、主査 白井睦実 利尻漁協 鴛泊昆布養殖部会 神成誠 一橋孝二 秋元雄二</p>

※沖で成長した種昆布を11月に陸揚げ・選別し、成コンブ養殖用のロープに根しばりし、巻き付けする。この状態が成コンブの養殖のスタート時である。そのため、スタート時の湿重量を②で調査した湿重量から差し引く必要があるため調査を実施。



# ①養殖ロープ延長の確認（種コンブ）

- 1) 種コンブは、養殖ロープに遊走子を着底させることから始まる。  
（通称どぶ漬け作業）宗谷地区水産技術普及指導所および町立会いのもと行っている。
- 2) を養殖11軒の養殖昆布漁業者と鴛泊養殖昆布部会は、毎年12月、2回に分け種コンブの養殖ロープをつくり、沖だしにより養殖漁場で種コンブ



# ①養殖ロープ延長の確認（種コンブ）

3）どぶ漬け作業の際に、宗谷地区水産技術普及指導所が漁業者に聞き取りを行い水槽へ投入したロープ延長を確認。その集計を、種コンブ養殖ロープの長さとする。

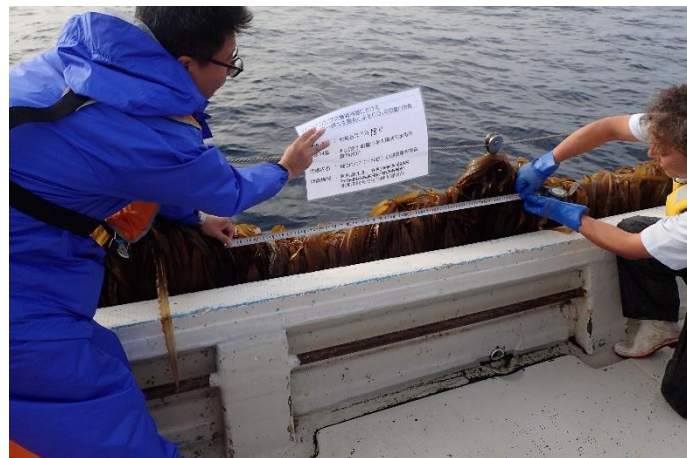
（単位：m）

2023年（令和5年）		
作業回数	1回目	2回目
漁業者	12月11日	12月19日
NO. 1	350	800
NO. 2	200	180
NO. 3	450	540
NO. 4	320	
NO. 5	320	560
NO. 6	380	
NO. 7	400	400
NO. 8	520	560
NO. 9	320	
NO. 10	320	590
NO. 11	900	280
NO. 12		100
小計	4,480	4,010
合計	8,490	

※宗谷地区水産技術普及指導所の調査結果より



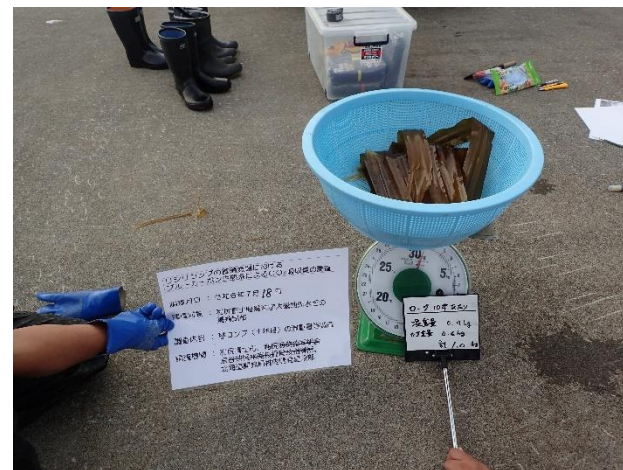
1) リシリコンブ養殖漁場の種コンブ（1年目）養殖場所へ調査船で移動し、海中の養殖ロープを海中から船上に吊り上げ、1m分を刈り取り。





## ②単位当たり湿重量、本数、葉長、葉幅の調査（種コンブ）

- 2) 種コンブ 1 mの湿重量を計測（平均19,300/m）
- 3) 種コンブ10本を抽出し、葉長（平均88.30cm/枚）・葉幅（平均4.74cm/枚）と湿重量（平均352.5g/10本）を計測
- 4) 養殖ロープ 1 m当たり546.3枚の育成を推定



# 調査結果（種昆布）

調査日	令和6年7月18日		No	葉長 (cm)	葉幅 (cm)
漁業者名	一橋孝二		1	141	7.5
調査者名	入井、関、阿部		2	107	5.0
			3	134	6.5
			4	120	5.0
ロープ延長	1	m	5	55	2.5
湿重量 (g/m)	17600.0	g/m	6	80	2.6
<u>湿重量 (t/m)</u>	<u>0.01760</u>	<u>t/m</u>	7	59	3.0
1mあたり本数	440	本/m	8	93	3.1
			9	109	5.0
10本当たり湿重量		400g/10本	10	130	5.3
1本当たり湿重量		40g/本	平均	102.80	4.55
			No	葉長 (cm)	葉幅 (cm)
調査日	令和6年7月31日		1	96	6.8
漁業者名	神成誠		2	92	6.7
調査者名	入井、佐藤、三好		3	41	3.0
			4	57	3.5
			5	80	5.4
ロープ延長	1	m	6	85	6.6
湿重量 (g/m)	21000.0	g/m	7	83	5.6
<u>湿重量 (t/m)</u>	<u>0.02100</u>	<u>t/m</u>	8	59	3.3
1mあたり本数	688.52	本/m	9	64	3.9
			10	81	4.5
10本当たり湿重量		305g/10本	平均	73.80	4.93
1本当たり湿重量		30.5g/本			

# 単位ロープあたりの残置量（湿重量）

調査結果

平均値

湿重量 (g/m)

19300.0

g/m

湿重量 (t/m)

0.01930

t/m

1mあたり本数

564.3

本/m

1) 上記結果より

2023年 ロープ延長 8,490mの湿重量(残置量)は 163.857 t